



まつかぜ

松之木小だより

児童数：376名

令和8年度

7月号

八潮市緑町三丁目9番地1

☎ 996-1377



知的好奇心を育む

校長 須賀 裕之

1学期も残り1か月となりました。今学期も保護者の皆様、地域の皆様には沢山のご協力を頂き、深く感謝申し上げます。また、今週からは、個人面談期間となっております。重ねて、よろしくお願い申し上げます。

さて、現在4年に一度開催される「サッカーW杯北中米3か国大会」が行われています。日本代表「サムライブルー」の活躍に、私自身も胸を踊らされています。そんな中、新聞の記事にふと目を落とすと、今大会の出場国、48か国の国名が載っていました。ブラジルやドイツ、アルゼンチンなどの強豪国が並ぶ中、初出場の4か国も名を連ねていました。「ウズベキスタン、ヨルダン、カーボベルデ、キュラソー」です。初めて聞く国名もあり、すぐに地図帳で場所を確認したり、ネットで調べたりしてみました。わくわくして、知的好奇心をくすぐられました。

このように、「知りたい。」「これって何?」と思う意欲や興味を持つ力が「知的好奇心」です。子供達が「どうして雲は空に浮いているのかな。」「この蝶はどこから来たんだろう。」などと素朴な疑問を持つことが学びの第一歩です。このような「知りたい。」という気持ちを生み出すのが「知的好奇心」であり、テストの点数では測ることのできない、学びの意欲や興味を持つ力のことを指します。

本校では、雨の多い梅雨の時期に、全校で「読書ビンゴ」に取り組んでいます。色々な種類の本を沢山読んで欲しいと、図書委員会の児童が考えたビンゴです。「動物が出てくる本」「ねずみくんシリーズ」など、条件にあった本を読んでいきます。図書室に足を運んで、様々なジャンルの本と出会うことで、読書の習慣が身につくといいなあと期待しています。

読書は、その人の視野を広げ、人生を豊かなものにしてくれます。また、学習の面からみても、多くの知識を身に付けるだけでなく、読解力、思考力、表現力が育ちます。さらに、「もっと知りたい」「本当はどういうことかな」等、子供達の「知的好奇心」を育むこともできます。今後も、読書の習慣を身に付けるために力を注いでいきます。

7月に入り、そろそろ梅雨も明け、夏本番となり、気温の上昇が懸念されます。

熱中症には十分気をつけながら、まとめの学習を進めます。ご家庭でも、早寝早起きを心がけ、子供達の睡眠時間にご留意いただきますよう、引き続き、よろしくお願いいたします。

読書ビンゴ

読書ビンゴ

どうぶつ が出てくる えほん	いちにち の シリーズ	たいめい が ありから はじまるほん
たいめい が ありから はじまる ほん	じふはん えんた ほん	はくふに かんけい ある ほん
たべもの かんけい ある ほん	ねずみくん シリーズ	へんしん シリーズ

□ビンゴたっせい!!

年 月 日